

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター  
平成30年度第2回契約監視委員会議事概要

開催日	平成30年9月19日(水) 10:00 ~ 11:00
場所	外来棟6階 特別会議室
委員	<p>委員長 二村 友佳子 (監事)          委員 橋本 修三 (監事)          委員 佐藤 亮達 (公認会計士)          委員 岡村 幹吉 (公認会計士)</p> <p>(オブザーバー) 浅野 修 (財務経理部長)          中谷 晶光 (財務経理課長)          宮森 勇仁 (調達企画室長)          田島 伊一 (契約係長)          (事務局) 松延 咲 (研究契約係長)          沖田 光郎 (監査室長)</p>
審議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>競争性のない随意契約</li> <li>前回一者応札又は落札率100%であったもの</li> <li>締結した契約が一者応札又は落札率が100%となったもの</li> </ol>
議事概要	<p><b>【審議事項1.「競争性のない随意契約」について】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>今回審議案件5件(前回までの審議10件)          内訳              ①事前審議 5件              ②事後審議 0件          内容              ①契約理由について              ②契約価格について              ③一般競争入札等への意向の可否について              ④点検、見直し後の契約等の状況について</li> <li>点検結果              ・指摘なし(指針等適合) 3件              ・指摘あり(指針等不適合) 2件</li> <li>監視委員の意見              ・遺伝子組み換えマウス1系統作成業務請負契約について              →他でも請負うことができるのであれば競争入札を検討しなければならない。当該施設でしか請負うことができないのであれば随意契約の理由を整理しておくこと。              ・「認知症サポート医研修のあり方に関する調査研究事業」にかかる支援業務委託契約について              →当該契約は従来の課題を踏まえた教材・カリキュラムの改訂を目的としていめるにもかかわらず、前回請負価格より高値の契約となっている。その合理的な理由が必要である。</li> </ol> <p><b>【審議事項2.「前回一者応札又は落札率100%」について】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>今回審議案件              ・前回一者応札 0件(前回までの審議0件)              ・前回落札率100% 0件(前回までの審議0件)</li> <li>審議事項              ①競争性の確保のための改善策              ②仕様書の内容など具体的な条件の設定</li> <li>審議結果              ・特に問題なし。</li> </ol> <p><b>【審議事項3.「締結した契約が一者応札又は落札率が100%となったもの】</b></p>

1) 今回審議案件

内訳

- ・一者応札 3件 (前回までの審議8件)
- ・落札率100% 3件 (前回までの審議5件)

2) 点検結果

- ・指摘なし (指針等適合) 3件

3) 監視委員の意見

- ・特に問題はない